

平成 24 年度事業報告
公益財団法人野口英世記念会
(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

平成 24 年度は、特例民法法人から公益財団法人への移行準備期間であり、事業内容は、移行認定申請の内容に準じた。また移行に伴う定款・規定・規則の整備のために、臨時役員会を複数回開催した。

1. 事業

(1) 野口英世の生家の維持保存並びに野口英世記念館の運営

ア) 野口英世の生家の公開

生家を降雪や暴風などの自然災害から守る対策を施行するとともに、人災の予防対策を行った。また生家の保存上必須の燻蒸を綿密に行った。また、以下に述べる通り、野口英世の「命日祭」と「誕生祭」を野口家の菩提寺の住職を祭司として執り行うとともに、地域に伝わる昔日の伝統行事を、野口英世の出身小学校である翁島小学校の児童や、地域の人たちを招いて行った。

- ① 平成 24 年 5 月 5 日 子ども餅つき大会 (生家中庭)
- ② 平成 24 年 5 月 21 日 第 84 回「命日祭」(「野口英世博士誕生地碑」の前)
- ③ 平成 24 年 8 月 9 日 救世観音祭礼 (観音堂)
- ④ 平成 24 年 11 月 9 日 第 136 回「誕生祭」(野口英世至誠館)
- ⑤ 平成 25 年 1 月 11 日 団子挿し (生家)
- ⑥ 平成 25 年 2 月 1 日 節分豆まき (生家)
- ⑦ 平成 25 年 3 月 23～24 日 生家囲炉裏火入れと燻蒸 (生家)

イ) 野口英世の生涯・研究業績などの資料公開

野口英世の生涯を広く知ってもらうため、野口英世記念館において平成 24 年 4 月 20 日 (金) ～11 月 30 日 (金) に、特別展「手紙にこめた絆-野口英世の想い」を開いた。

ウ) 野口英世に関する研究や講演会・展覧会などの開催

野口英世の生涯と科学者としての業績を紹介する講演会や展覧会を、以下の通り開催した。

- ① 平成24年7月7日、母シカと野口英世の絆を描いた映画「遠き落日」の公開20周年上映会を開いた。
- ② 市民を対象にした連続講座「野口英世の絆」を4回開催した。
 - 第1回 平成24年8月24日、母との絆-母の背中を見て育った野口博士（当会学芸員・森田鉄平）
 - 第2回 平成24年9月7日、恩師との絆-私立猪苗代日新館と野口博士（当会学芸員・小桧山六郎）
 - 第3回 平成24年10月24日、横浜との絆-18年の保存運動を顧みる-国内に唯一残る野口博士の細菌検査室保存（野口英世細菌検査室保存会顧問・小暮葉満子）
 - 第4回 平成24年11月13日、野口博士ゆかりの地を巡る-生家周辺・三城潟編
- ③ 平成24年9月14日～17日に「野口英世記念展と猪苗代物産展」を横浜港大さん橋国際客船ターミナルにおいて開催した。
- ④ 平成24年11月7日～9日に「冬の野口英世記念展と猪苗代物産展」を横浜港大さん橋国際客船ターミナルにおいて開催した。

エ) 会報・図書等の刊行

野口英世記念会の活動を紹介する「野口英世記念会報57号」を平成24年8月に刊行した。

オ) 野口英世顕彰団体や個人との交流

野口英世を顕彰する人々との輪を拓げるため、国内外の野口英世顕彰団体や個人との交流を行った。

- ① 横浜市長浜ホールとの交流
- ② 野口英世細菌検査室保存会との交流
- ③ 野口英世博士顕彰会との交流

カ) 野口英世少年科学賞の授与

猪苗代町出身の科学者野口英世を讃えるとともに、次代を背負う少年の科学する心を育み、自然科学に興味を持つことを奨励し、ひいては少年の健全な育成と地域社会の発展に寄与することを目的として、猪苗代町の小中学校の児童生徒が行った自然や事物等に関する観察・実験の記録や研究を対象に、第18回野口英世少年科学賞を下記の通り選考し、授与した。

① 平成 24 年 10 月 審査委員会 (野口英世至誠館)

② 平成 24 年 11 月 9 日 授賞式 (野口英世至誠館)

最優秀賞「パックテストによる猪苗代湖の水質調査」

翁島小学校 5 年 佐藤柚衣

優秀賞「のみもののぶくぶく大じっけん」

千里小学校 1 年 渡邊壮太

同 「あさがおのかんさつ」 千里小学校 2 年 堤 聖也

同 「石の不思議」 長瀬小学校 3 年 本多 悠

同 「電気をつくるエネルギー・2」

千里小学校 4 年 小野木滉馬

同 「食べ物で過酸化水素水を分解しよう」

長瀬小学校 6 年 本多麻裕子
桑原希実

同 「イースト菌はどの粉でふくらむのだろうか？」

東中学校 1 年 福地智也

同 「地震による液状化現象は土のような時に被害が大きくなる」

猪苗代中学校 3 年 齊藤美月

佳作 「もののうきしずみ」 長瀬小学校 1 年 齋藤藍里

同 「しおとさとう」 緑小学校 2 年 六角美虹

同 「卵はどうなるか」 翁島小学校 3 年 加藤真希

同 「ぼくの住む町の土調べ」 翁島小学校 4 年 渡部匡平

同 「家庭で使った水の汚れ度を調べよう」

長瀬小学校 5 年 渡部拓真

同 「いろいろな物で炭を作ってみよう」

千里小学校 6 年 半谷昂大

同 「白たきの変色実験」 東中学校 1 年 柴田菜摘

同 「氷のでき方の違いを調べる」 東中学校 2 年 佐藤未悠

同 「朝と夜の虫」 吾妻中学校 3 年 遠藤早姫

キ) 学校、地域の社会教育・文化活動への支援

地域や全国のあらゆる年齢の人々との交流を深めることにより、野口英世を広く知ってもらい、学校や社会の健全な発展に寄与することを目的とした

活動を行った。

- ① 平成 24 年 5 月 12 日 野口英世博士顕彰記念中学校球技大会
- ② 平成 24 年 8 月 6 日 野口杯争奪ゲートボール大会
- ③ 平成 24 年 10 月 5 日 野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭
- ④ 平成 24 年 10 月 18 日 野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭
- ⑤ 平成 24 年 11 月 9 日 野口英世博士顕彰記念町内小中学校作文コンクール
- ⑥ 平成 24 年 12 月 2 日 猪苗代町絆づくり実行委員会母から子への手紙コンテスト
- ⑦ 平成 25 年 2 月 7 日 野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会

(2) 野口英世記念医学賞授与

野口英世博士が生前行った研究に関係のある優秀な医学研究に対し、その功績を表彰する第 55 回野口英世記念医学賞に兵庫医科大学岡村春樹博士と中西憲司博士の「インターロイキン-18 (IL-18) の発見とその生体防御における役割」を選び、賞状、賞牌、賞金を授与した。

- ① 平成 24 年 6 月 2 日及び 7 月 28 日 野口英世記念医学賞選考委員会開催
- ② 平成 24 年 11 月 第 55 回野口英世記念医学賞授賞式

また、平成 25 年度第 56 回野口英世記念医学賞の公募を平成 25 年 2 月に開始した。

(3) 野口英世記念奨学金貸与

野口英世記念奨学金は、野口英世の生涯の恩人である小林栄先生の支援によって、野口清作（英世）が高等小学校に進学出来たことに因み、社会のために有為な人材を育成することを目的として、福島県内の高等学校進学を希望する中学生を対象に貸与している。平成 24 年度の第 55 期奨学生は、平成 24 年 11 月 1 日に募集を開始し、平成 25 年 1 月 26 日に選考委員会を開催し、下記 9 名を選んだ。

- 五十嵐結衣 (猪苗代町立猪苗代中学校)
- 遠藤 南 (猪苗代町立猪苗代中学校)
- 大和田令惟 (郡山市立御館中学校)
- 川田 想 (猪苗代町立猪苗代中学校)
- 桑原良拓 (猪苗代町立東中学校)
- 鈴木拓夢 (猪苗代町立猪苗代中学校)

棚邊徹郎 (平田村立小平中学校)
土屋起喜 (猪苗代町立猪苗代中学校)
古川有李紗 (猪苗代町立猪苗代中学校)

なお、平成 24 年 8 月 4 日に第 50 回奨学生情報交換会を野口英世至誠館において開催した。また、奨学生の自主運営による「ふるさと会」の支援・協力も行った。

2. 役員会の開催

- (1) 平成 24 年 4 月 7 日 臨時理事会 (書面審査)
- (2) 平成 24 年 6 月 23 日 定時理事会、定時評議員会
- (3) 平成 24 年 7 月 11 日 臨時評議員会 (書面審査)
- (4) 平成 24 年 8 月 22 日 臨時理事会、臨時評議員会
- (5) 平成 24 年 10 月 27 日 臨時理事会、臨時評議員会
- (6) 平成 25 年 3 月 23 日 定時理事会、定時評議員会
- (7) 平成 25 年 3 月 23 日 臨時理事会、臨時評議員会

3. 主務官庁報告、届出事項

- (1) 平成 24 年 5 月 1 日 平成 24 年度事業計画及び予算書
- (2) 平成 24 年 8 月 3 日 平成 23 年度事業報告並びに決算書
- (3) 平成 24 年 11 月 15 日 公益財団法人への移行認定申請書

以上